

市内各地域で広がっている地域と大学の連携

阿木地区 地域のイベントをリニューアル「特産安岐そば・シクラメン祭り」

昨年、「特産安岐そば・シクラメン祭りをリニューアルする」をテーマに岐阜大学の学生と地域住民でフューチャーセンター（住民と学生のワークショップ）を開催しました。

今年は、地域と学生の顔合わせを行い、意見交換を行うなど学生目線でどのように取り組めるかを考え、リニューアルに向けた取り組みを展開しています。

学生たちが地域を訪れ考え、リニューアルされた今年の「特産安岐そば・シクラメン祭り」をお楽しみに。



地域の話真剣に聴く学生たち

山口地区 道の駅「賤母」インターンシップ

名古屋外国語大学の学生が、「持続可能な社会づくり・人づくり」をテーマに道の駅賤母でのインターンシップや地域おこしのお手伝いを行っています。

文献調査や聞き取りによる地域の歴史・文化・生活などの学習を行い、「賤母ごへーまつり」での前日の準備から販売、「皇女和宮降嫁行列」の参加による地域活動の体験、外国人観光客へのインタビューによる状況調査など、多岐にわたる活動を行なっています。



地域の人たちと五平餅作り

神坂地区 地域の特徴に応じた防災・インフラ管理を考える

地域と岐阜大学が協働して、地域のインフラや土砂災害などの危険区域を点検する「協働点検」を実施しています。

災害地形やインフラの点検方法などの専門知識を教わり、地域の人こそが知っている土地の変化や伝承された防災の知恵などと重ね合わせて、地域に必要なインフラ管理をみんなで考えています。この事業は、社会基盤メンテナンスエキスパートの皆さんにも協力いただきながら実施されています。



地域のインフラを協働点検

このほかの地域でも

坂下地区では中京学院大学と、そば粉を生かしたお菓子レシピ集や成分・効用などの紹介資料づくり、蛭川地区では至学館大学と、スポーツ選手、指導者の講演会や地域の食材を活用した料理のメニューづくりに取り組みます。

また、栗や苗木城など中津川市の地域資源の調査研究を行う学習院大学の「恵那・中津川地域活性化プロジェクト」、日本の旧街道を駅伝リレー方式で歩く文京学院大学の「五街道ウォーク in 中山道2016」などが予定されています。



とりトマカレースープ



地域での花飾り活動

地域で活躍する中京学院大学

市内を大学のキャンパスとし、地域の方と交流しながら各種イベントやボランティアなどの地域での様々な活動に参加しています。昨年度は、駅前商店街の方々と連携して、地元の食材を使った美容と健康によい「とりトマカレースープ」を開発し十日市で販売を行なったほか、手賀野地区と連携して花飾り活動を行うなど、地元の大学として地域貢献に積極的に取り組んでいます。



広がっています

学生たちとつながります

「域学連携」とは、大学生と大学教員が地域に入り、住民とともに地域課題の解決や地域づくりに継続的に取り組む活動のことで、学生の感性、行動力、大学教員の知識や経験を生かし、地域の活性化や人材育成へとつなげていくことを目的としています。

中津川市では、「域学連携」を地域の活力を生み出す重要施策として位置づけており、今後、市内全域を学生たちのキャンパスとして、「域学連携」の取り組みを波及させ、市全体の活性化につながるよう取り組んでいます。

市民協働課（☎内線327）

加子母で受け継がれる「域学連携」

今年で22年目を迎える「かしも木匠塾」。森林や林業とは深い歴史を持つ加子母地区に、建築を志す大学生が全国から集まります。この活動は、平成7年から、産直住宅の振興に取り組む製材所や工務店などの方々の支えによって続けられており、学生たちにとっては、大学では学ぶことのできない貴重な体験を得る機会となっています。

今年も京都大学などの8大学から、過去最高となる300人の大学生が参加し、空き家の改修、祭りなどの製作を通じて、地域の方々との交流を深めます。

また、日本福祉大学と中学校の生徒たちが「地域の未来」について考えるワークショップが予定されています。

このほかにも、名古屋工業大学による「地域の資源」を探るフィールドワークなどの活動が展開されるなど、地域をキャンパスとして活動しています。



かしも木匠塾 H28.8.14～28 開催



中学生とのワークショップ

学生時代の取り組みから、今も地域とのつながりを持っています

すさき ゆうさ
洲崎 由彩さん 広島県尾道市出身

武蔵野美術大学在学中に加子母歌舞伎の舞台演出に係わったことがきっかけで加子母むらづくり協議会の研修生として、現在、明治座を中心とした地域づくりに取り組んでいます。



地域の資源を絵本に「むらのしばいごや 明治座さ〜ん」製作

加子母在住の画家・本間希代子さんと名古屋工業大学藤岡研究室の協力により製作されました。

製作にあたっては、名古屋工業大学の学生が、明治座の歴史調査や聞き取り調査を行なってくれました。

加子母の人々がこれまで親から子へと少しずつ語り継いできた明治座についてのたくさんの証言を集めて、描かれています。

